

大阪 21 世紀の新環境総合計画の点検評価結果  
(毎年度サイクル) について (環境総合計画部会報告)

資料 3

1. 開催状況

<日時・議題>

平成 30 年 8 月 17 日 第 1 回部会 (7 名中 6 名の委員が出席)

議題 1 大阪 21 世紀の新環境総合計画の改定に係る報告について

議題 2 環境の状況及び講じた施策に係る点検・評価について

議題 3 重点的な点検・評価について

対象分野：資源循環型社会の構築

議題 4 現計画の進捗状況及び次期計画にかかる検討スケジュール等について

2. 点検評価結果の概要

<毎年度サイクル点検評価結果>

- ・施策事業は概ね順調に進んでいる。

<主な指摘事項・意見>

施策事業等名称	指摘事項・意見
クラウドファンディングを活用した環境取組の推進	どのような府民・NPOの活動を支援するのか、対象を明確にして取り組むべき。
地球温暖化全般について	二酸化炭素排出量の減少だけでなく、経済産業活動の活性化も同時解決する必要がある。二酸化炭素排出量減少の要因をしっかりと見て、持続的なものなのかどうかチェックしていく必要がある。
省エネ行動の普及啓発事業	省エネ行動の啓発は、気長に持続的に続けていくことが重要であり、特に若い世代に対して、しっかり根付かせて、将来そのような行動が自然と取れるような環境を作っていくことが大事なので粘り強くやっていただきたい。
「みどりの風を感じる大都市・大阪」の推進	多世代や親子ともども学ぶような機会が大切。また、アドプトフォレストなど関連施策とうまく組み合わせていくべき。
循環型社会推進計画の推進	府民にとっては、生活系ごみのデータを前面に出すほうがやりがいにつながる。

### 3. 次期環境総合計画について

次期環境総合計画策定について、以下のスケジュールで予定していることを事務局から報告。現段階での委員からの主な意見は以下の通り。

#### <検討スケジュール>

2019 年度	6 月頃	次期環境総合計画策定に関する諮問 環境総合計画部会の開催（5～6回程度）
2020 年度	6 月頃	次期環境総合計画策定に関する答申 パブリックコメント実施、市町村等調整
	3 月	計画策定

#### <委員からの主な意見>

- ・ SDGs 同士のつながりを考え、包括的に計画の中で検討することが望ましい。
- ・ 海洋プラスチック汚染など、新しい環境問題も踏まえる必要がある。
- ・ 大阪らしい、府民の意識を高めるチャレンジングな目標を掲げてはどうか。
- ・ 2030 年といった短期の目標も重要だが、2050 年といったもう少し先のビジョンを持って、二段階構想というものを考えてはどうか。
- ・ SDGs は 17 あるが、その中から大阪府として何か特色のあるようなものを打ち出してはどうか。
- ・ 少子高齢化の状況や society5.0 などを踏まえて計画を考える必要がある。
- ・ 社会的インパクト評価におけるロジックモデルを活用し、初期成果・中期成果といった各段階におけるアウトプット指標やアウトカム指標を設定する事が必要。

(参考) 現行の環境総合計画の分野構成について



目指すべき将来像

府民がつくる暮らしやすい、環境・エネルギー先進都市